

2016年（平成28年）度
矯正施設被収容者処遇関連情報の管理及び生活維持管理
業務・システム最適化実施状況報告書

1. 矯正施設被収容者処遇関連情報の管理及び生活維持管理業務・システムの概要

項目	内容
個別管理組織担当課室名	法務省矯正局総務課
対象期間	2016年4月1日～2017年3月31日
最適化工程の段階	運用段階

2. 最適化実施状況

システム構成の集約化及び統合化

（最適化の実施内容）

現有システムは、回線容量が比較的狭い法務省NWのインフラを利用していることから、各拠点にサーバを分散配置させ、また、各システムはクライアント・サーバ方式を採用している。

そのため、サーバの関連経費を必要とし、システム要員ではない各拠点の職員が業務の合間にサーバ運用を行うなど、運用管理面の負荷があることから、サーバ関連経費の削減及び運用管理負荷の軽減のため、全国約300拠点のサーバを東日本及び西日本の2拠点に物理的に集約した上で、仮想化技術を用いてサーバ台数を削減するとともに、業務システムのデータベースの集約化を行う。

これにより、年間約54,000千円の経費節減が可能となる。

なお、平成26年7月、サーバ集約化に伴う機器等の調達を行ったところ、サーバ借料が年間約53,000千円となったことから、最終的に年間約152,000千円の経費節減が見込まれる。

（最適化の実施状況）

2012年（平成24年）度を実施した「矯正局におけるサーバ集約化及びシステム統合化に向けた調査分析」に基づき、集約するサーバ機器（以下「集約サーバ機器」という。）の調達、各拠点に分散配置しているサーバ機器から業務アプリケーション及び保存しているデータの集約サーバ機器への移行を、2014年（平成26年）度から2015年（平成27年）度にかけて実施した。

2016年（平成28年）度は、2015年（平成27年）までに実施した東西の集約センターへのサーバの集約を踏まえ、集約サーバの運用を行った。

3. 調達関係

なし

4. その他

なし

5. 添付書類

最適化効果指標・サービス指標一覧